

No.	020	—	1001	事務事業名	消防訓練事務			細事務事業名				公的関与	2
PLAN	課名	消防課		係名	警防係		電話番号	089-964-5210		メールアドレス	syobohonbu@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	経常的事務事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	6 消防・防災体制の充実			主要施策	(5) 防火・防災意識の高揚と自主防災組織等の育成		
	事業の対象	消防署、消防団、自主防災組織、関係機関、市民等						根拠法令	消防組織法				
	事業の目的	最終的	総合的な訓練を実施し、災害に強いまちづくりを目指します。					今年度	大規模地震災害に対する災害対応能力の向上を目指します。				
	活動内容	①	東温市総合防災訓練に参加します。					④					
		②	東温市総合防災訓練の参加団体への訓練指導を行います。					⑤					
		③	自主防災組織の訓練指導を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標	
		総合防災訓練		訓練実施回数				回	目標 1	1	1	1	
地域防災訓練		訓練実施割合 自主防災組織結成数 ÷ 訓練実施数				%	目標 100	100	100	100			
							実績 71	67					
DO	予算費目	会計	一般会計				費目名	消防費					
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	60 千円	0 千円	0 千円								
	計(A)	60 千円	0 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.081 人	611 千円	0.074 人	447 千円	0.074 人	448 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		671 千円	447 千円	448 千円								
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市民と一体となった防災体制を確立するために必要です。												
有効性	防災訓練を通じ、市民の防災に対する意識の向上が見られます。												
達成度	自主防災組織を対象とした訓練回数が減少しています。												
効率性	他の関係機関からの情報を参考に、当市の実情にあった防災体制について協議します。												
当面の課題	危機管理室と連携し、総合的な防災体制を図ることが必要です。												
改革計画	関係機関と協議し、防災体制の向上について検討します。												
二次評価者	消防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	東北大震災以降市民の防災意識が向上しています。実践的な訓練を行い防災体制を強化し、ソフト・ハード両面から災害に強い町づくりに努めてください。												

No.	020	—	1002	事務事業名	消防資機材の整備・更新事務	細事務事業名		公的関与	2				
PLAN	課名	消防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobohonbu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(4) 消防・救急体制の充実				
	事業の対象	市民				根拠法令	消防力の整備指針						
	事業の目的	最終的	消防資機材を整備し、災害活動時の効率化、迅速化を図ります。			今年度	消防用ホース等の更新を行います。						
	活動内容	①	消防用ホース9本の更新を行います。			④							
		②	携帯無線機2台の更新を行います。			⑤							
		③	消防用資機材の整備を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	771 千円	812 千円	822 千円								
	計(A)	771 千円	812 千円	822 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.043 人	324 千円	0.040 人	242 千円	0.040 人	242 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,095 千円	1,054 千円	1,064 千円								
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市民を災害から守り、安心・安全なまちづくりのためには、消防力充実、強化は不可欠です。												
有効性	消防資機材の更新により、災害対応力の強化が図られています。												
達成度	更新計画により順次消防装備の充実を図っています。												
効率性	計画的な更新計画に基づき、効率的に消防資機材の整備に努めています。												
当面の課題	消防装備の充実化を図ることは、迅速で効率的な消防活動につながることから、今後も計画的な事務を進めていくことが有効ですが、予算確保が厳しくなっていることから、更新計画を効率的に進める必要があります。												
改 革 画	事業の優先度を考慮し、年度ごとの明確な更新計画をたてていきます。												
二次評価者	消防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	東温市においても南海トラフ地震の震度は7が想定されています。災害発生時に有効な活動が出来るよう、消防資機材を計画的に更新・配備して消防力の強化に努めてください。												

No.	020	—	1003	事務事業名	消防団の装備・施設整備事務	細事務事業名		公的関与	2				
PLAN	課名	消防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobohonbu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(2)総合的な防災体制の確立				
	事業の対象	市民				根拠法令	消防力の整備指針						
	事業の目的	最終的	消防団車両及び資機材を充実させることにより、火災等被害の軽減を図ります。			今年度	消防団積載車(南野田)を更新し、消火・水防等の活動を円滑にします。						
	活動内容	①	小型動力ポンプ積載車を更新します。			④							
		②	小型動力ポンプを更新します。			⑤							
		③	消防団車両の維持管理事務(車検、修理等)を実施します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		消防団車両更新		ポンプ積載車更新目標数		台	目標 1	1	1	老朽化した車両を全て更新する			
小型動力ポンプ更新		小型動力ポンプ更新目標数		台	目標 0	2	2	老朽化した車両を全て更新する					
					実績 1	1							
					実績 0	2							
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防費							
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	2,425 千円	2,404 千円	2,404 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	4,025 千円	7,238 千円	9,522 千円								
	計(A)	6,450 千円	9,642 千円	11,926 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.369 人	2,782 千円	0.447 人	2,699 千円	0.447 人	2,704 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		9,232 千円	12,341 千円	14,630 千円								
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	地震などの大規模災害や山間部の災害に、消防団は不可欠で、その装備の充実が必要です。												
有効性	消防団車両及び資機材の更新は、市民の安全・安心なまちづくりに有益です。												
達成度	老朽化したものから順次、更新を進めています。												
効率性	計画的な更新計画を進めることで、効率的な非常備消防の整備を図っていく必要があります。												
当面の課題	常備消防における災害対応には限界があり、消防団の災害発生時の活動は不可欠なものでありますが、予算の確保が難しいため効率的に整備を進めていく必要があります。												
改革計画	今後より計画的な更新計画を立て、整備を進めます。												
二次評価者	消防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	消防団の装備については計画的に更新することに努めてください。消防団員の士気の向上にもつながります。東北大震災で多くの消防団員が亡くなったこともあり、消防団員の安全にも配慮してください。												

No.	020	—	1006	事務事業名	消防水利の整備・監理事務	細事務事業名		公的関与	2				
PLAN	課名	消防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobohonbu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(2)総合的な防災体制の確立				
	事業の対象	市民				根拠法令	消防法						
	事業の目的	最終的	消防水利を充実させることにより、火災時の迅速な防御活動を図ります。			今年度	消火栓ボックス及び標識の設置、防火水槽給水装置の設置を行います。						
	活動内容	①	消火栓ホース格納箱と標識を設置します。			④							
		②	防火水槽を設置します。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		消火栓ボックス設置	消火栓ボックス設置目標数		台	目標	12	14	14	年間20			
				実績	12	14							
防火水槽設置		防火水槽設置目標数		基	目標	0	1		年間1				
					実績	0	1						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	2,280 千円	9,080 千円	2,779 千円								
	計(A)	2,280 千円	9,080 千円	2,779 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.333 人	2,510 千円	0.347 人	2,096 千円	0.347 人	2,099 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		4,790 千円	11,176 千円	4,878 千円								
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	初期消火に使用する消火器具及び消火活動時の水利確保は被害軽減のため必要です。												
有効性	消防体制の強化が図られています。												
達成度	消防水利不足地域の解消のため、引き続き消防水利を整備する必要があります。												
効率性	新設だけでなく、既設の消防水利についても、常に使用できるように修繕も実施しています。												
当面の課題	火災による被害を最小限に抑えるために、水利不足地域の解消を図る必要があります。												
改 革 画	効率的な配置計画により、順次整備を図る必要があります。												
二次評価者	消防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	消火栓ボックスの設置により市民による初期消火の能力が向上します。火災による被害を最小限にとどめるため設置・更新に努めてください。また消防水利を充実し火災被害を軽減し、安心・安全の町づくりを目指してください。												

No.	020	—	1009	事務事業名	消防施設の維持管理事務	細事務事業名		公的関与	2				
PLAN	課名	消防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobohonbu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(2)総合的な防災体制の確立				
	事業の対象	市民				根拠法令	消防組織法						
	事業の目的	最終的	地域防災活動拠点である消防団蔵置所の整備を行うことにより、消火、防災活動が迅速かつ的確に行われるようにします。			今年度	消防施設の修理を行います。						
	活動内容	①	消防団施設の修理を行います。			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防費							
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,452 千円	361 千円	882 千円								
	計(A)	1,452 千円	361 千円	882 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.591 人	4,455 千円	0.273 人	1,649 千円	0.273 人	1,651 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		5,907 千円	2,010 千円	2,533 千円								
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	地域防災活動拠点である消防団施設の修繕は必要です。												
有効性	消防団蔵置所の修繕は、安全・安心なまちづくりに有益です。												
達成度	修繕が必要なものから順次整備を行っています。												
効率性	効率的な整備計画により非常備消防の整備を図る必要があります。												
当面の課題	消防団は、地域に密着した消防・防災活動を行うために、地域における中心的な役割を担っていることから、消防団施設を効率的に整備していく必要があります。												
改 革 画	消防団施設の充実に努め、地域の安全を確保していきます。												
二次評価者	消防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	消防団の活動をより効率的に行うためには、地域の防災拠点である蔵置所の充実は欠かせません。計画的にまた地域の特性に合った維持管理に努めてください。												